



東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設の機能、内容等について

東日本大震災・原子力災害
アーカイブ拠点施設有識者会議

イノベーション・コースト構想における
国際産学連携拠点

情報発信拠点

産学官共同
研究室

大学教育拠点

技術者
研修拠点

福島に共感し、人々が集うシンボルとなる場所

～ふるさとふくしま再生の歴史と未来館～

展示・交流エリア

機能1

正確でリアルタイム
な情報発信

機能2

訪れる多くの人々に
効果的に伝える展示

機能3

後世に
正しく伝える教育

機能4

地域コミュニティの再生
に資する様々な交流

機能5

復興を担う人材育成

- ・世界へ向けての情報発信
- ・災害の実態や復興の軌跡の展示
- ・地域コミュニティの再生等への取組
- ・災害の実態や教訓等の次世代への継承
- ・災害対応ロボット等の展示
- ・コーディネーター育成やボランティアスタッフの組織化

基本理念

世界初の複合災害と復興の記録や教訓の
「未来への継承」「世界との共有」

福島にしかない複合災害の経験や教訓を生かす
「防災・減災」

福島に心を寄せる人々や団体と連携し、地域コミュニティや
文化・伝統の再生、復興を担う人材の育成等による
「復興の加速化への寄与」

資料エリア

機能6

災害の記録や
資料の収集・保存

- ・研究者などへの相談対応や支援
- ・他のアーカイブ施設や大学等との連携・情報共有

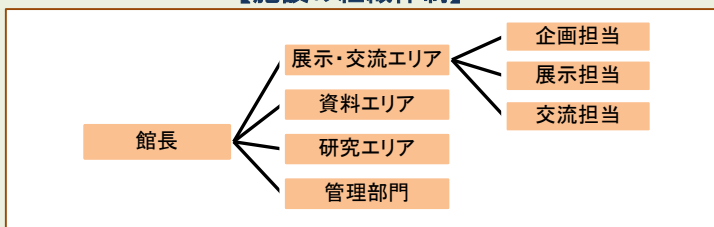
研究エリア

機能7

複合災害の実態と
教訓の継承・共有の
ための調査・研究

- ・世界の災害研究や教育への寄与
- ・研究者への支援やネットワーク形成
- ・研究成果の情報発信

【施設の組織体制】



(仮)運営委員会
有識者や地域
住民等で組織する